

事務事業評価票〔市単独補助金〕 平成 29 年度

		担当課	産業政策課				
基本事項	補助金(事業)名	シルバー人材センター運営費補助金			整理番号	1204	
	根拠法令等	島原市高齢者就業機会確保事業費補助金交付要綱		実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第5章 「農漁商観」が融合した活力ある産業をつくる	予 算 目 5 款 1 項 2 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規			
		節 第5節 企業誘致及び新規起業・就業の支援	区 分	団体の運営費に対するもの			
事業概要等	補助金交付の対象(団体名等)	公益社団法人 島原市シルバー人材センター			実施期間	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 元年度から年度まで	
	事業の背景及び概要(現状、課題)、または交付団体の活動目的、活動内容など	<p>島原市シルバー人材センターは、本格的な高齢化社会を迎え、高齢者にふさわしい就業機会を提供し、豊富な人生経験と身につけた技術を活かしながら、社会の環境づくりに貢献するとともに、高齢者の健康保持と充実した生活確保に役立てる趣旨で設立。(平成元年2月21日)</p> <p>「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき、高齢者に就業機会を確保、提供する機関として長崎県知事から指定された公益法人である。</p> <p>「高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくり」に寄与することを目的に、高齢者の就業に関する情報提供や相談、就業の確保等を行っている。</p>					
	目指す成果 (交付対象団体等をどのような状態にしたいのか)	高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりを目指す団体					
	補助金交付内容等 (積算基礎等)	定額14,430,000円(国との協調補助)					
事業費等の推移	年度		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	区分		実績	実績	実績	実績	予算額
	補助金交付額(千円)		14,430	14,430	14,430	14,430	14,430
	① 団体等事業費(千円)		157,863	176,569	172,763	168,378	179,622
	歳入内訳(千円)	会費等	618	614	628	604	660
		前年度繰越金					
		市補助金	14,430	14,430	14,430	14,430	14,430
		その他の助成金	7,810	7,878	10,040	9,381	9,381
その他雑収入		137,808	154,044	149,959	144,926	155,216	
次年度繰越金(②-①)		2,803	397	2,294	963	-	
28年度の当該団体等の事業費の主な内訳(市補助金が充当されていると思われるものから順に記載) (単位:千円)							
項 目			金 額	項 目			金 額
給料手当			13,981				
法定福利費			3,457				
補助金の使途についての特記事項等							

◎1次評価(自己評価)

○視点別分析		
視 点	現 状 分 析	説 明
① 助 成 事 業 の 効 果	<input checked="" type="radio"/> 意図した効果があがっている <input type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない <input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	高齢者の社会参画を促進し、高齢者が生き生きと生活できる社会をつくるという点で効果がある。
② 市 の 関 与 の 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	高齢者の雇用問題解決という労働面、および社会参画による福祉面という2点に関わっていることも考慮し、必要性はあると考える。
③ 団 体 の 事 業 内 容 や 助 成 の 在 り 方 等 の 見 直 し 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 見直しの必要はない <input type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	今後も事業の需要は増えると見込まれ、見直しは必要ないと考える。
○総合評価と今後の方向性		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 総 合 評 価 </div>	判 定	<input checked="" type="radio"/> A 継続(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input type="radio"/> B4 その他の見直し 休止・廃止の具体的方向性
	判 定 理 由	高年齢者に就業の機会を確保し、高年齢者の能力の積極的な活用を図ることの重要性は、本格的な高齢化社会を迎える中、更に大きくなっている。
今後の課題と見直しの方向性(総合評価判定がB1～B4の場合)	課 題	
	見 直 し の 方 向 性	

◎2次評価

判 定	A1特段の見直しを行わず、現行のまま継続
備 考	高齢者等の雇用の安定等に関する法律により支援に努める必要があること、センターの活動が「高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくり」に寄与していることから補助金支出は妥当なものである。補助金額については近年減少傾向にある。高齢者の就業機会を多く確保できるよう活動推進を期待する。

◎3次評価

判 定	
備 考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況 (☑)	
<input type="checkbox"/> 補助額の削減 <input type="checkbox"/> 補助額の増加 <input type="checkbox"/> 補助の休止若しくは廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ⇒ 予算措置額の増減 0千円	
備 考	